

◎令和8年度 東大和市水防訓練

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

東大和市と北多摩西部消防署等が連携し、水害による被害を最小限にする為、水防訓練が市役所北側砂利敷駐車場にて、下記の通り実施されました。雨による災害や被害に対する理解を深め、大雨が予想される場合の防災対策や、早めの避難行動判断の大切さ等を学びます。家庭でできる浸水対策体験、各種水防工法訓練の見学、「自然災害体験車」「降雨車」による災害の体験、「移動トイレ車」の展示などが実施されました。



受付



広報による訓練進行

1. チェーンソー取扱訓練(9:00~9:20)



木材の切断



鉄パイプの切断

2. 土砂災害倒壊家屋救出訓練(9:20~9:30)



警察犬による、要救助者の探索





要救助者の発見・救出・搬送

3. 水防工法訓練(9:30~10:30)

(1)土のう作成



(2)積み土のう工法(基本工法、鉄製の杭の打ち込み)



(3)改良積み土のう工法(防水シートを活用、杭の打ち込み無し)



(4)マンホール噴出防止工法



(5)簡易水防工法(都市型水防工法)(家庭で身近なものを活用)



ポリタンク



止水版



4. 市民向け訓練・体験コーナー(9:00~11:30)

(1)簡易水防工法(上記3. (5))、土のう作成体験(上記3. (1))

(2)自然災害体験車の搭乗体験



順番を待つ



国土交通省の所有する「自然災害体験車」では、大規模地震・土石流・洪水・火山噴火の4つの災害を、映像・音響・風・エアガン・フラッシュ・振動などで体験できます。定員は10名で所要時間は15分程度です。途中タブレットによるクイズもあり、今回は「土砂災害編」を体験しました。

(3)降雨体験車の搭乗体験



はげしい雨にさらされるので、カッパを着て、靴・靴下を脱ぎます。



時間雨量と風速の計器



はげしい風を発生させます。

(4)移動トイレの展示



令和8年3月に東大和市が購入した、移動トイレ。
牽引されてどこへでも移動します。
真ん中はタンクで、汚水を再利用の完全循環式です。

5. 検閲(10:35)

6. 講評・来賓紹介(10:45)



市長様



市議会議長様



消防団長様



北多摩西部消防署長様

7. 作られた土のうは、バケツリレーで土のう置き場へ。



土のうは災害時、無料配布されます。

東大和市からのお願い

- **自宅周辺の排水溝などを点検**
・落葉や土埃による排水溝の詰まりがあったら、清掃し、水が流れるようにしておきましょう。
- **避難場所と持出用品の確認**
・浸水予想区域や避難場所、持出用品等を記載したハザードマップを出水前に確認しておきましょう。
- **地下階への浸水準備**
・仕切り板や土のうで浸水を防止しましょう。
・地下駐車場の排水ポンプ設備を確認しましょう。



天気の変化に備える

- **天気予報から**
雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ている時、天気予報で「大気の状態が不安定」、「天気の急変」などの表現がある時は注意しましょう。
- **空の状態から**
「急に真っ黒な雲が近づいてきた」、「雷鳴が聞こえる」、「稲光が見えた」などの場合は注意しましょう。
- **川の状態から**
「水かさが増えてきた」、「濁ってきた」、「流木や落ち葉が流れてきた」などの場合は注意しましょう。
- **気象情報等の入手**
インターネットの各種気象サイトから、気象情報や東京都の水防災総合情報システムの雨量及び河川の水位情報などを入手しましょう。

令和8年度東大和市水防訓練



1. 実施日時

- 令和8年5月17日(日)
- ・チェーンソー取扱訓練 (9:00～ 9:20)
 - ・倒壊家屋救出訓練 (9:20～ 9:30)
 - ・水防工法訓練 (9:30～10:30)
 - ・自然災害体験車搭乗体験 (9:00～11:30)
 - ・降雨体験車搭乗体験 (9:00～11:30)

2. 実施機関

東大和市、東大和市消防団、東大和建設同友会、東京消防庁北多摩西部消防署、東京消防庁災害時支援ボランティア、警視庁東大和警察署、国土交通省、市内自治会

本日のスケジュール

- 1 **チェーンソー取扱訓練 (9:00～9:20)**
東大和市消防団、東大和建設同友会、東大和警察署
北多摩西部消防署
- 2 **土砂災害倒壊家屋救出訓練 (9:20～9:30)**
東大和市消防団水防第一中隊(第一分団、第二分団)
東大和建設同友会、東大和警察署(警備犬)、北多摩西部消防署
- 3 **水防工法訓練 (9:30～10:30)**
【土のう作成】
東大和市水防班、東大和警察署
【積み土のう工法】
東大和市消防団水防第二中隊(第三分団、女性部)
【改良積み土のう工法】
東大和市消防団水防第三中隊(第五分団、第六分団)
【マンホール噴出防止工法】
東大和市消防団水防第四中隊(第四分団、第七分団)
【簡易水防工法】
東京消防庁災害時支援ボランティア
- 4 **市民向け訓練・体験コーナー (9:00～11:30)**
【簡易水防工法・土のう作成体験】
【自然災害体験車の搭乗体験】
【降雨体験車の搭乗体験】
- 5 **検閲 (10:35)**
- 6 **講評・表彰紹介 (10:45)**
- 7 **訓練終了 (11:00)**



水防工法の紹介

- **積み土のう工法**
水防工法の基本といえる工法で、増えてくる水かさに合わせて、土のうを積み上げます。さらに、土のうが落ちたり流されたりしないように鉄製の杭を打ち込みます。河川からの溢水や地下街、地下室への浸水を防ぐことができます。
- **改良積み土のう工法**
防水シート等を活用することで従来の積み土のう工法に比べて止水効果が高い工法です。また、杭を打ち込む必要がないことから舗装された堤防上面などで有効です。
- **マンホール噴出防止工法**
噴出しているマンホールの周囲に土のうやベニヤ板等を用いて囲み、噴出した雨水の水圧を利用して噴出を防止する工法です。
- **簡易水防工法(代表的な活用例)**
身近なものを活用することによって、家庭でも早いうちに浸水被害を減らすことができます。



ポリタンクとレジャーシート



止水板

- **土のうの作成方法**
①袋のはしに出ている紐を絞れば、②絞りが終わったら、紐を引いて、袋の先端部分を折り曲げ、紐を縛ります。③紐を2～3回まわして、紐を折り曲げた間に通して、下から上に通して、引いて締めます。



以上